

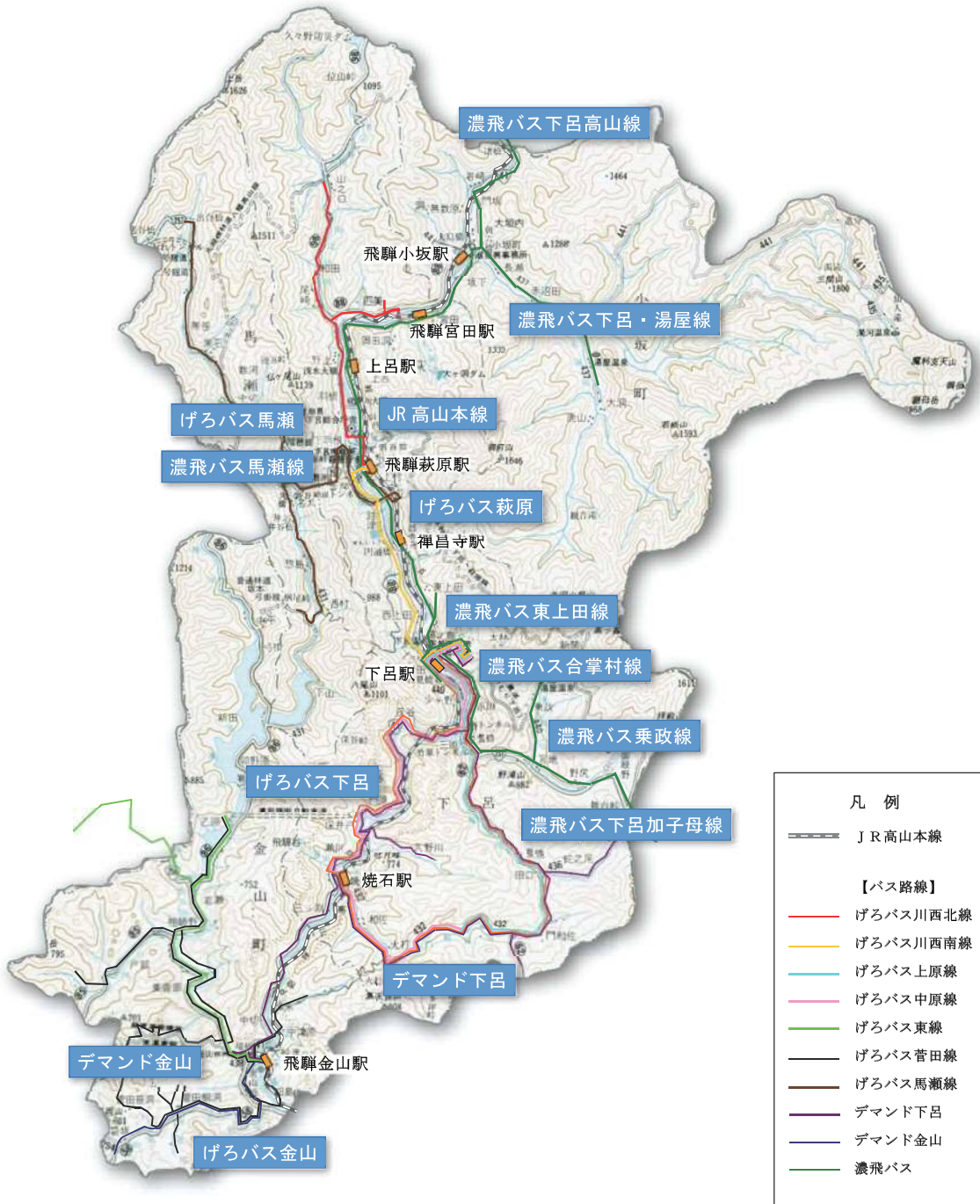
第2章 下呂市における公共交通実態

1 下呂市内における公共交通の運行状況

(1) 公共交通ネットワーク

下呂市における公共交通ネットワークは、下図の通りである。

図表 2-1 下呂市における公共交通ネットワークの状況



(2) 鉄道

① 運行本数・運賃

JR高山本線は、普通と特急がほぼ同じ運行本数であり、昼間の普通は2～3時間に1本程度の運行となっている。(飛驒小坂駅、飛驒萩原駅、飛驒金山駅では一部の特急が停車)

運賃は、市内区間で大人片道 210 円～840 円である。

図表 2-2 JR高山本線下呂駅の運行状況

	平日		土休日	
	運行時間帯	運行本数	運行時間帯	運行本数
運行本数<上り> (美濃太田方面)	5:35～22:49	普通 11 本 特急 10 本	5:35～22:49	普通 11 本 特急 10 本
運行本数<下り> (高山方面)	6:24～23:38	普通 11 本 特急 10 本	6:24～23:38	普通 11 本 特急 10 本

(平成 30 年 12 月現在)

図表 2-3 JR高山本線の主な市内区間の大人片道運賃

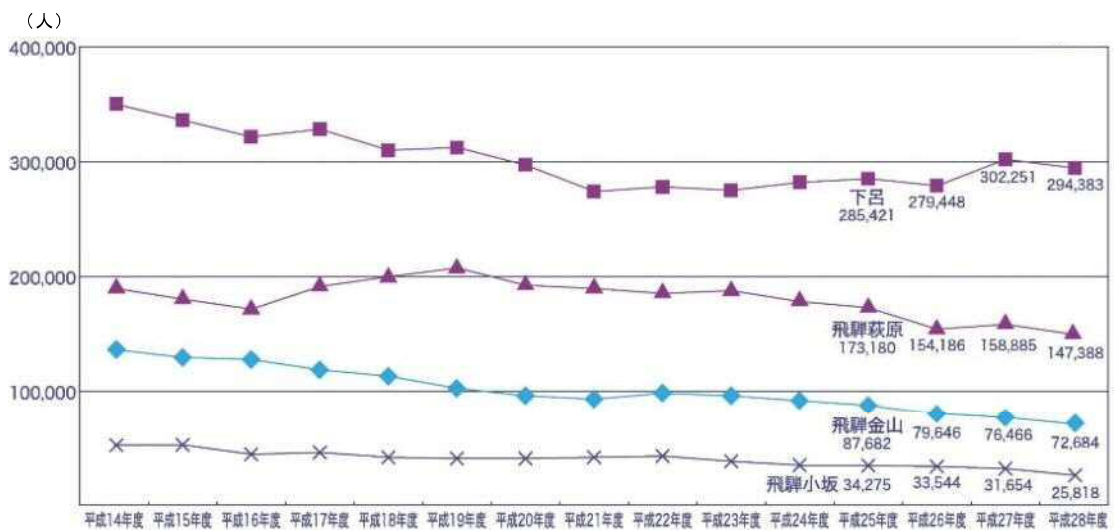
区間	普通運賃	区間	普通運賃
下呂～飛驒萩原	210 円	下呂～飛驒金山	410 円
下呂～飛驒小坂	410 円	飛驒小坂～飛驒金山	840 円

(平成 30 年 12 月現在)

② 主要駅の乗車人員

近年の各駅の乗車人員は、下呂駅は横ばい、飛驒萩原駅、飛驒金山駅、飛驒小坂駅では減少傾向となっている。

図表 2-4 市内主要駅の年間乗車人員



出典：下呂市データ集、岐阜県統計書

(3) バス

①運行路線

市内を運行するバス路線の運行路線は、下表の通りである。

図表 2-5 市内の路線バス、げろバス運行路線

主な運行地域	事業者	路線名	主な運行経路			運行時間帯	運賃
			起点	経由地	終点		
下呂、萩原、小坂	濃飛※1	下呂高山線	下呂バスセンター	小坂町	高山濃飛バスセンター	5時～20時	100円～1,040円
小坂	濃飛	下呂湯屋線	下呂バスセンター	小坂駅前	鹿山	6時～18時	100円～1,110円
萩原	下呂市	川西北線	萩原駅前	南飛驒健康増進センター	上之田	6時～19時	100円～410円
	下呂市	川西南線	萩原駅前	古関	下呂駅前	6時～19時	100円～410円
馬瀬	濃飛	馬瀬線	下呂バスセンター	馬瀬振興事務所	美輝の里	7時～18時	100円～620円
	下呂市	馬瀬線	川上	馬瀬振興事務所	西村	6時～18時	100円～620円
下呂	濃飛	下呂加子母線	下呂バスセンター	舞台峠	加子母総合事務所前	7時～20時	100円～1,060円
	濃飛	乗政線	下呂バスセンター	乗政農協前	乗政温泉	7時～18時	100円～620円
	濃飛	合掌村線	下呂バスセンター	下呂駅前	下呂温泉病院	8時～17時	100円
	濃飛	東上田線	下呂バスセンター	下呂駅前	東上田	8時～11時	100円～260円
	下呂市	上原線	少ヶ野	下呂駅前	川渡	8時～19時	100円～620円
	下呂市	中原線	少ヶ野	下呂駅前	二の樽	6時～18時	100円～620円
	下呂市	デマンド下呂				8時～14時	510円※2
金山	下呂市	菅田線	飛驒金山駅	マツオカ前	上袋坂	6時～18時	100円～410円
	下呂市	東線	飛驒金山駅	乙原	和良診療所前	6時～18時	100円～510円
	下呂市	デマンド金山				7時～16時	510円※2

※1 事業者の「濃飛」は、濃飛乗合自動車株

※2 デマンドの運賃は、大人 510 円、子ども 100 円。年間利用券：6,000 円（購入日から 1 年間有効）もある。ただし、利用券を購入できる方は、65 歳以上の方、福祉関係の手帳をお持ちの方、または自動車等の運転が困難で自らの移動手段が無い方に限る。

出典：岐阜県資料、下呂市資料、濃飛バスホームページをもとに作成

②コミュニティバスの年間利用者数

コミュニティバス（げろバス・デマンドバス）合計の年間利用者数は、年々減少傾向にあり、平成28年度は前年の5%減となっている。

平成28年度のげろバス利用者は、全ての路線で前年度より減少している。デマンドバスの利用者合計は、増減を繰り返しており、近年はほぼ横ばいである。実利用者は、デマンド金山南まわりの36人が最大である。

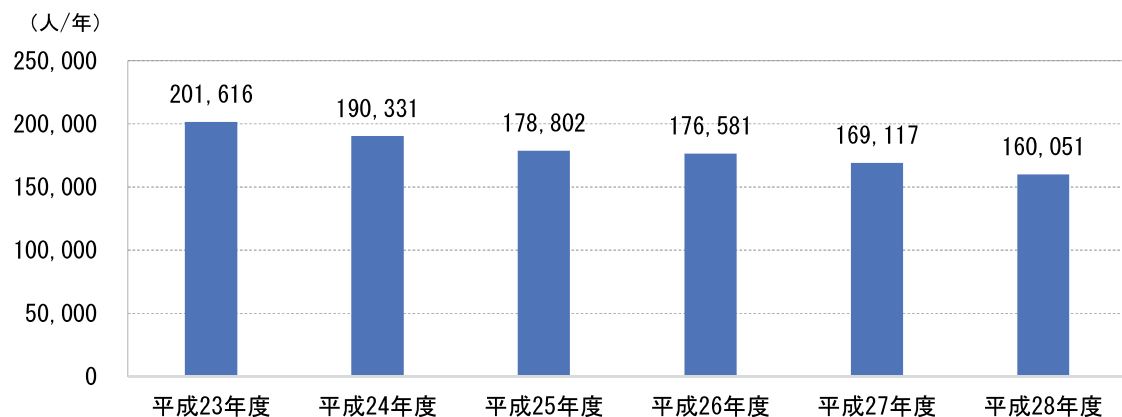
図表 2-6 コミュニティバス(げろバス・デマンドバス)年間利用者数推移 (単位:人)

路線名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度÷平成27年度	平成28年度 便平均利用者数	平成28年度 便数
げろバス 下呂	上原線	32,101	33,320	30,448	31,938	30,016	29,696	0.99	8.19	3,626
	中原線	23,155	23,274	22,793	24,856	23,989	21,747	0.91	7.45	2,918
げろバス 萩原	川西北線	42,496	37,738	30,636	32,238	33,870	30,257	0.89	5.94	5,090
	川西南線	40,129	32,353	36,582	30,775	29,337	29,263	1.00	6.93	4,220
げろバス 金山	菅田線	22,085	23,002	22,081	21,661	20,107	18,888	0.94	3.90	4,844
	東線	26,005	30,709	30,886	29,413	26,725	24,858	0.93	4.56	5,456
	戸川線	12,376	4,285	平成27年8月廃止				-	-	-
げろバス 馬瀬	馬瀬線	平成27年4月 路線バスを一部コミュニティバス化				27,508	25,098	0.91	3.12	8,056
げろバス計 (馬瀬線を含む)		198,347	184,681	173,426	170,881	191,552	179,807	0.94	5.26	34,210
げろバス計 (馬瀬線を除く)		198,347	184,681	173,426	170,881	164,044	154,709	0.94	5.92	26,154
デマンド 下呂	中原～金山 まわり	平成25年4月 開始		56	33	156	175	1.12	10	
	久野川 まわり	73	72	73	96	131	161	1.23	10	
	蛇之尾 まわり	136	66	51	130	165	134	0.81	7	
	上原～金山 まわり	平成25年4月 開始		12	6	平成27年4月 廃止				
デマンド 金山	北まわり	930	3,252	2,988	3,353	2,340	2,705	1.16	23	
	南まわり	2,130	2,260	2,196	2,082	2,281	2,167	0.95	36	
デマンド計		3,269	5,650	5,376	5,700	5,073	5,342	1.05		
合計(馬瀬線を含む)		201,616	190,331	178,802	176,581	196,625	185,149	0.94		
合計(馬瀬線を除く)		201,616	190,331	178,802	176,581	169,117	160,051	0.95		

※注 上記利用者数には小中学生の通学利用も含まれる。

出典：下呂市資料をもとに作成

図表 2-7 コミュニティバス(げろバス・デマンドバス)年間利用者数の推移



※げろバス馬瀬は、含まない。

(4) まめなカー

福祉乗合型移動サービス「まめなカー」は、下呂・萩原・金山地域に居住する方のうち、次のどれかの要件を満足する方及び付添人（1人まで）が利用できる。

- ①介護保険認定者（要支援・要介護）
- ②障がい手帳保有者（身体・知的・精神）
- ③心身の状態が①②と同等以上と地域包括支援センターが認めた方

登録制となっており、目的地は、下呂・萩原・金山地域内の官公署・公共施設・医療機関・福祉施設・駅・バス停・商業店舗等となっている。

前日午後4時までに予約センターに電話申し込み。当日予約は、10時以降の運行であれば、1時間前まで受け付け可。料金は距離に応じて決まる。通院利用が多い。

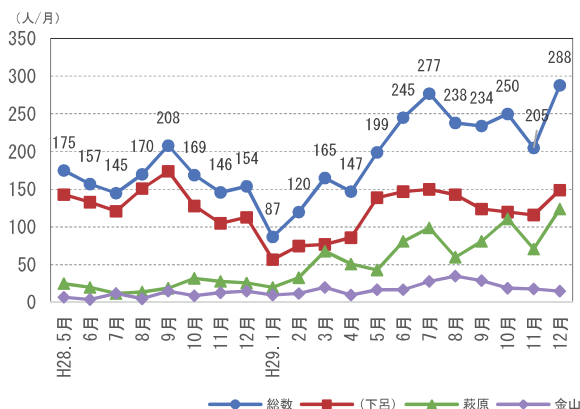
平成28年5月からの試験運行を経て、平成30年4月から本格運行を行っており、運行回数は平成29年6月以降では月200回以上で、延べ利用者数、実利用者数ともに増加傾向である。乗合は一時期増加したが、最近では乗合がない状況である。

図表 2-8 まめなカーの利用実績

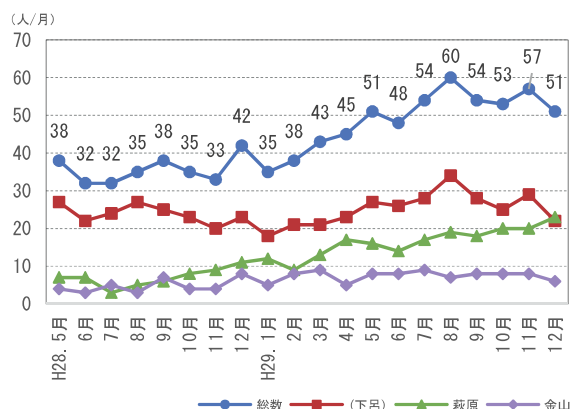
運行月	会員登録者数			運行回数	延べ利用者数					実利用者数				乗合回数	運行距離 (Km)	利用料収入 (円)	
	(人)	月毎	地域別内訳			(人)	地域別内訳				地域別内訳						
			下呂		萩原		金山	下呂	萩原	金山	下呂	萩原	金山				
H28.5	102	(102)	76	14	12	175	175	143	25	7	38	27	7	4	0	914.1	261,970
H28.6	121	(19)	4	9	6	157	157	133	20	4	32	22	7	3	0	875.1	249,470
H28.7	130	(9)	3	3	3	145	145	121	12	12	32	24	3	5	0	808.9	220,910
H28.8	141	(11)	5	4	2	170	170	151	14	5	35	27	5	3	0	893.4	252,840
H28.9	142	(1)	0	0	1	208	208	174	19	15	38	25	6	7	0	1,006.8	290,420
H28.10	145	(3)	1	2	0	169	169	128	32	9	35	23	8	4	0	847.0	233,540
H28.11	148	(3)	1	2	0	143	146	105	28	13	33	20	9	4	3	692.0	195,770
H28.12	158	(10)	3	5	2	154	154	113	26	15	42	23	11	8	0	656.2	195,550
H29.1	164	(6)	2	2	2	87	87	57	20	10	35	18	12	5	0	488.9	131,980
H29.2	172	(8)	3	4	1	120	120	75	33	12	38	21	9	8	0	555.0	162,480
H29.3	182	(10)	1	8	1	165	165	77	68	20	43	21	13	9	0	706.9	215,700
H29.4	190	(8)	5	3	0	146	147	86	51	10	45	23	17	5	1	664.4	196,020
H29.5	194	(4)	2	2	0	189	199	139	43	17	51	27	16	8	10	877.0	254,360
H29.6	202	(8)	6	2	0	233	245	147	81	17	48	26	14	8	12	1,237.0	349,640
H29.7	205	(3)	1	1	1	264	277	150	99	28	54	28	17	9	13	1,523.1	407,720
H29.8	211	(6)	3	2	1	233	238	143	60	35	60	34	19	7	5	1,157.8	322,730
H29.9	215	(4)	0	3	1	234	234	124	81	29	54	28	18	8	0	1,322.5	366,550
H29.10	219	(4)	3	0	1	250	250	120	111	19	53	25	20	8	0	1,298.5	368,810
H29.11	220	(1)	1	0	0	205	205	116	71	18	57	29	20	8	0	875.8	259,484
H29.12	223	(3)	2	0	1	288	288	149	124	15	51	22	23	6	0	1,478.7	417,840
計		223	120	66	34	3,447	3,491	2,302	894	295	823	471	231	121	44	17,400.4	4,935,944

出典：下呂市資料

図表 2-9 まめなカー延べ利用者数の推移



図表 2-10 まめなカー実利用者数の推移



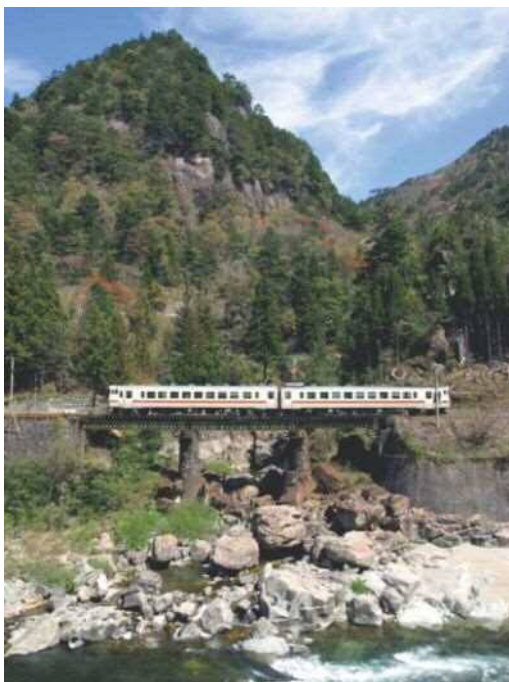
(5) タクシー

市内には、タクシー会社が2社あり、下呂、萩原、金山、小坂に営業所がある。

図表 2-11 市内のタクシー会社

会社名	営業所	車両数
ライドシステムズ(株)	下呂、萩原、金山	中型タクシー：24台 ジャンボタクシー：5台 合計：29台
鳩タクシー(株)	小坂	中型タクシー：2台

出典：下呂市資料



▲ JR 高山本線



▲ 濃飛バス



▲ げろバス



▲ タクシー



▲ デマンドバス

2 バスの収支状況

下呂市のコミュニティバス（げろバス・デマンドバス）の運行に係る経費（市負担金）は、年間約1億2,600万円（平成28年度）であり、年々増加傾向である。

平成28年度の利用者は累計185,149名で、利用者1人あたり1回の利用で約680円の経費を支出していることになる。また、市人口は33,437人（平成28年度末）であることから、市民1人あたり年間約3,770円の費用負担をお願いしていることになる。

収支率（平成28年度）は、げろバスが11.8%、デマンドバスは3.1%、全体の平均は10.9%となっており、特にデマンドの収支率が低い。げろバス、デマンドバスともに、収支率は低下傾向である。

また、濃飛バスについても厳しい収支状況である。

収支率は低下傾向

図表 2-12 コミュニティバス(げろバス)、デマンドバスの収支率の推移 (単位:円)

			①運行経費	②収入	市負担金 (①-②)	収支率 (②÷①)
平成28年度	げろバス	げろバス下呂	37,786,920	5,904,577	31,882,343	15.6%
		げろバス萩原	37,409,102	4,516,439	32,892,663	12.1%
		げろバス金山	41,462,308	3,418,305	38,044,003	8.2%
		げろバス馬瀬	10,262,521	1,104,448	9,158,073	10.8%
		小計	126,920,851	14,943,769	111,977,082	11.8%
	デマンドバス	デマンド下呂	3,790,985	86,280	3,704,705	2.3%
		デマンド金山	10,744,676	363,960	10,380,716	3.4%
		小計	14,535,661	450,240	14,085,421	3.1%
	総合計			141,456,512	15,394,009	126,062,503
平成27年度	げろバス	げろバス下呂	37,317,411	6,152,835	31,164,576	16.5%
		げろバス萩原	36,103,988	5,004,422	31,099,566	13.9%
		げろバス金山	40,036,812	3,318,476	36,718,336	8.3%
		げろバス馬瀬	10,032,170	1,230,131	8,802,039	12.3%
		小計	123,490,381	15,705,864	107,784,517	12.7%
	デマンドバス	デマンド下呂	3,803,731	80,520	3,723,211	2.1%
		デマンド金山	10,749,135	380,190	10,368,945	3.5%
		小計	14,552,866	460,710	14,092,156	3.2%
	総合計			138,043,247	16,166,574	121,876,673
平成26年度	げろバス	げろバス下呂	37,300,421	5,580,185	31,720,236	15.0%
		げろバス萩原	36,085,463	5,164,537	30,920,926	14.3%
		げろバス金山	39,777,742	3,938,801	35,838,941	9.9%
		げろバス馬瀬	-	-	-	-
		小計	113,163,626	14,683,523	98,480,103	13.0%
	デマンドバス	デマンド下呂	4,298,960	97,110	4,201,850	2.3%
		デマンド金山	10,794,951	501,270	10,293,681	4.6%
		小計	15,093,911	598,380	14,495,531	4.0%
	総合計			128,257,537	15,281,903	112,975,634

※運行経費は、運行事業者への委託料

収入は、現金、回数券、定期、スクール、福祉パスポートを含む。

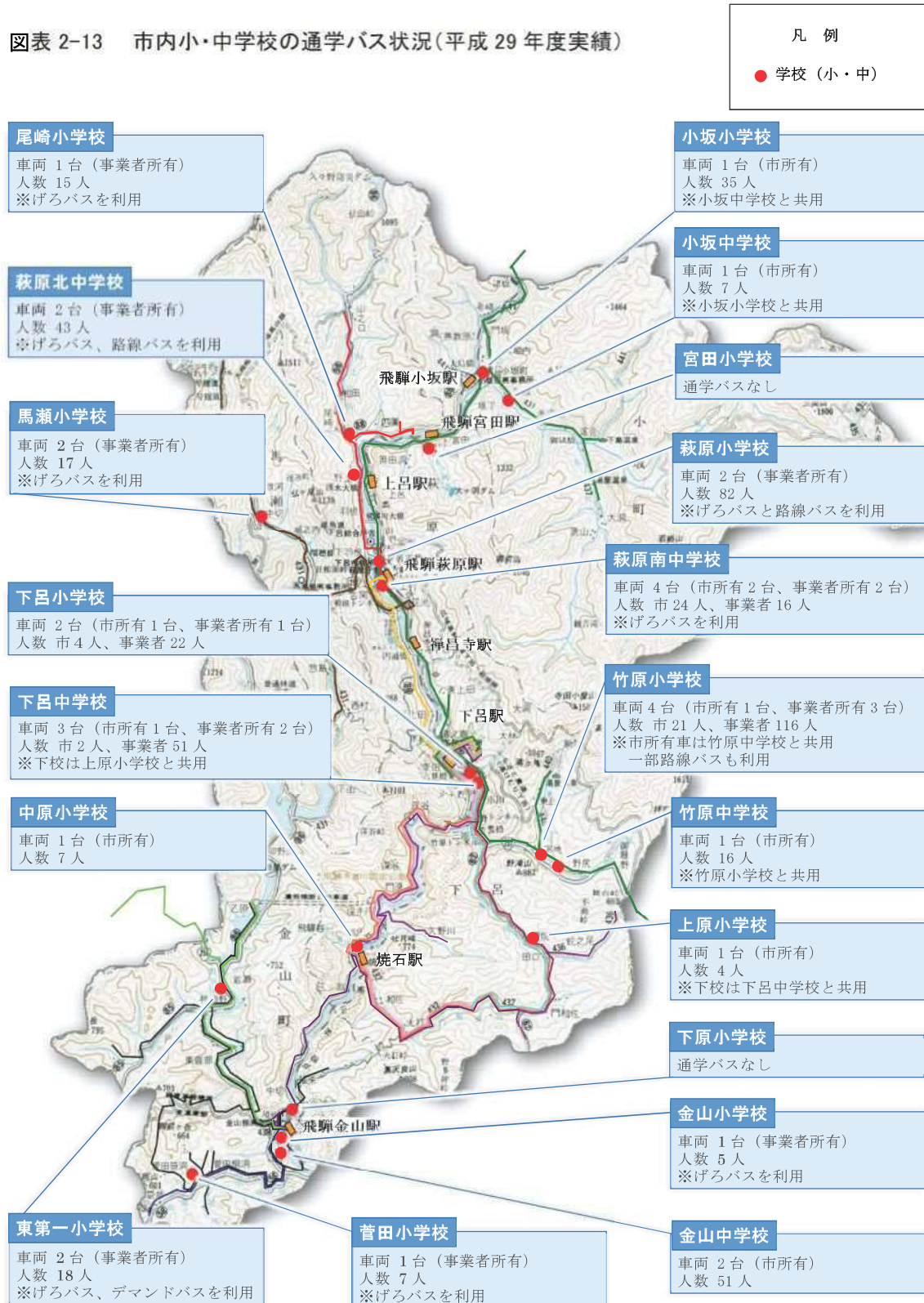
出典：下呂市資料

3 教育、福祉分野での公共交通

(1) 小・中学校の通学バス

市内小・中学校では、スクールバスのほかに、げろバス・デマンドバスを利用して通学している。

図表 2-13 市内小・中学校の通学バス状況(平成 29 年度実績)



小・中学校の通学利用は、げろバス利用者数の約46%、デマンドバスの約24%を占めている。

図 2-14 げろバス・デマンドバスの通学利用 (単位:人)

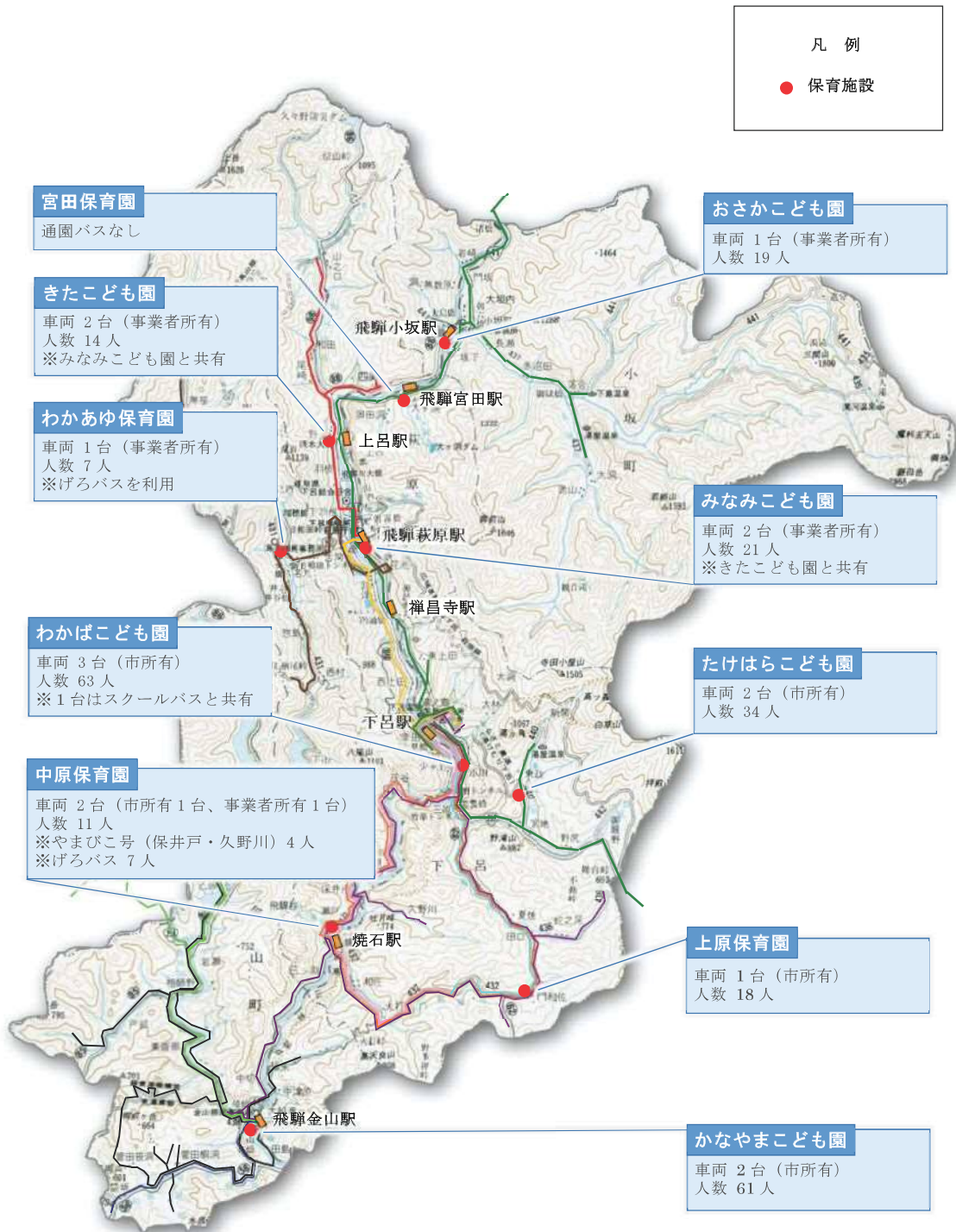
		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	備考	
げろバス	利用者数	上原小学校	25	26	21	18	上原線
		中原小学校	17	16	16	15	中原線
		下呂中学校	21	19	23	24	上原線
			21	27	25	24	中原線
		萩原小学校	11	11	16	15	川西北線
			42	46	45	52	川西南線
		尾崎小学校	14	15	18	19	川西北線
		萩原北中学校	27	17	19	12	川西北線
		萩原南中学校	2	0	1	1	川西北線
			27	19	19	12	川西南線
		菅田小学校	13	12	11	8	菅田線
		金山小学校	1	2	3	3	東線
		東第一小学校	12	12	12	9	東線(船野方面)
			5	5	6	6	東線(乙原方面)・帰りのみ
		わかあゆ保育園			7	7	馬瀬線
		馬瀬小学校			20	13	馬瀬線
馬瀬中学校			21	16	馬瀬線		
計		238	227	283	254		
小中学校登校日		170	171	162	161		
保育園利用者数				1,995	1,755		
小中学校延べ利用者数		80,070	76,779	90,720	80,822		
げろバス年間利用者数		173,426	170,881	191,552	180,968	①	
げろバス年間利用者数 (通学利用者除く)		93,356	94,102	98,837	98,391	②	
げろバスの通学利用割合		46.2%	44.9%	48.4%	45.6%	(①-②)÷①	
デマンドバス	東第一小学校(利用者数)	4	5	3	4	デマンド北まわり	
	登校日	170	171	162	161		
	延利用者数	1,360	1,710	972	1,288		
	デマンドバス年間利用者数	5,376	5,700	5,073	5,350	①	
	デマンドバス年間利用者数 (通学利用者除く)	4,016	3,990	4,101	4,062	②	
	デマンドバスの通学利用割合	25.3%	30.0%	19.2%	24.1%	(①-②)÷①	

出典：下呂市資料

(2) 通園バス

市内保育施設の通園バスとして、一部でげろバスを活用している。

図表 2-15 保育園バス運行状況(平成 29 年度実績)



(3) 福祉パスポート

独自に交通手段を持たない65歳以上の高齢者、障がい者及び生活保護受給者の便宜を図るとともに、社会参加の機会を広め福祉の増進を図るため、福祉パスポートの交付を行っている。

【平成28年度福祉パスポート購入者数 1,065人】

◇対象者：市内に住所を有する65歳以上の方、生活保護受給者、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方

◇利用対象バス：市内のコミュニティバス及び濃飛バス
デマンドバス及び市外の乗車分は適用外

◇期間と料金：下表のとおり

図表 2-16 福祉パスポート料金

利用可能期間	福祉パスポート料金
4月～6月までに購入した場合	11,000円
7月～9月までに購入した場合	9,000円
10月～12月までに購入した場合	6,000円
1月～3月までに購入した場合	3,000円

※利用の終期はいずれも3月末まで
平成30年度より上記に改定

(4) 福祉有償運送

下記の2団体が、高齢者や障がい者等でバスやタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な方の通院、通所、レジャー等の移動支援をするために福祉有償運送を実施している。利用対象者や利用料金は団体により異なる。利用者は年々減少している。

○社会福祉法人 下呂市社会福祉協議会（事務局：下呂市萩原町）

○特定非営利活動法人 ケアパレット（下呂市東上田）



▲スクールバス



▲福祉有償運送バス



▲保育園バス

第3章 前計画の評価

前計画である下呂市公共交通計画（計画期間平成24年度～28年度）の計画内容に対して、その実績・評価を整理した。

図表 3-1 前計画の評価(1/2)

地区	計画内容	実績・評価	実現の状況※1
小坂地区	下呂湯屋線の拡充による地域間幹線系統化	当時は下呂～小坂線だったのを下呂～小坂～湯屋線に拡充し、地域間幹線系統として補助対象路線化した。(但し、平均乗車密度が低いため、国・県の補助は満額支給されていない。)	○
馬瀬地区	馬瀬南萩原線（地域間幹線系統）の構築（馬瀬線とコミュニティバス川西線の結合）	下呂～萩原～馬瀬線の構築を目指すも、地域間幹線の要件をクリアすることが出来ず、コミュニティバスとして運行させるには下呂市の財政負担が増えるため、実現には至っていない。	△
萩原地区	馬瀬南萩原線の構築をふまえたコミュニティバス川西南線の見直し	下呂～萩原～馬瀬線の構築を目指すも、地域間幹線の要件をクリアすることが出来ず、コミュニティバスとして運行させるには下呂市の財政負担が増えるため、実現には至っていない。	△
下呂地区	デマンド下呂の見直し	上原～金山、中原～金山を運行させるも、乗車率が悪く、上原～金山は廃止した。全体的に乗車率は低い。	○
	乗政線の見直し（舞台峠ルート（田口～蛇之尾～野尻～ふるさと農道～新下呂温泉病院～下呂駅）の変更検討）	ふるさと農道を通るルートは冬季の路面凍結の問題がある。また、下呂温泉病院回りのニーズがある一方、ショッピングセンターピアをはじめとした市街地へのニーズが根強く、実現には至っていない。	△
金山地区	コミュニティバス袋坂線の延長見直し（金山駅から経由地を新金山病院に変更+商業施設経由）	新金山病院の開院に伴い、見直しを行った。	○
	コミュニティバス祖師野線・戸川線の統合・一部見直し（本町・橋本町・駅・商業施設・新金山病院の巡回路線に変更、戸川地区の一部を統合）	コミュニティバス祖師野線・戸川線を統合した。バスが停車しない戸川地域についてはデマンドバス金山で対応。なお、濃飛横断自動車道の活用については始点と終点（保井戸地区と乙原地区）を目的としたニーズが無いため、路線化していない。(但し、回送には活用されている。)	○

※1 ○：実現 △：実現には至っていない

図表 3-1 現行計画の評価(2/2)

地区	計画内容	実績・評価	実現の状況 ^{※1}
全域	交通空白地における代替手段（区域運行、交通空白・過疎地有償運送）の導入検討	現時点では市内に完全な交通空白といえる地域は無く、計画策定後に新たに導入した方法はない。しかしながら、今後は運転手不足等の問題からバスを中心とした公共交通の維持が困難になると予想されるため、その代替手段となるデマンドタクシーや過疎地有償運送については、継続して検討する必要がある。	△
下呂温泉地区	下呂温泉街巡回バスの事業化検討	事業実施していない。 平成 28 年度に観光課所管事業として二次交通バス検証実験、タクシーによる周遊観光実験が実施された。 実験結果を検証し、公共交通施策と観光施策の棲み分けが必要である。	△

※1 ○：実現 △：実現に至っていない

第4章 上位・関連計画との関連

1 上位・関連計画における公共交通の方向性

上位・関連計画における公共交通の方向性について整理すると、次のようにまとめられる。

- ①現行バスの利用状況の検証結果を踏まえた効率的な交通体系の整備
- ②デマンドタクシー等による交通空白地域の解消
- ③コミュニティバスや路線バスを活用した通学・通園利用
- ④福祉有償運送の充実等、高齢者や障がい者等の移動の確保
- ⑤観光振興につながる交通手段の確保
- ⑥市民・事業者との連携、庁内の他分野との連携による多様な交通手段の確保

図表 4-1 上位・関連計画における公共交通の方向性

関連計画(計画年度)	公共交通に関する方向性
第二次総合計画(2015～2024)	○コミュニティバス・デマンドバスの利用状況を検証しながら、効率的な交通体系をつくる。 ○デマンドタクシー等も検討しながら交通空白地域の解消に努める。 ○関係課と調整し、コミュニティバスや路線バスを利用した園児・児童の送迎等の検討を行い、一元化を目指す。
過疎地域自立促進計画(2016～2020)	○デマンドタクシー等も検討しながら交通空白地域の解消に努める。
地域福祉計画(2017～2021)	○高齢者等をはじめとする移動困難者に対する移動サービスを研究・開発する。
第7期介護保険事業計画(2018～2020)	○在宅で安心した生活を送るための支援として、福祉パスポート、福祉有償運送サービス、福祉乗合型移動サービス(まめなカー)に取り組む。
下呂市都市マスタープラン(2012-2020)	○ソフト・ハードの両面から、公共交通機関の利便性の充実を図る。
下呂市地域再生計画(2016～2020)	○下呂温泉と市内の各観光資源を結ぶ二次交通を整備する。

2 各計画における公共交通の位置づけ

各計画における公共交通の位置づけは、次に示すとおりである。

(1) 第二次総合計画【計画期間：2015（平成27）年度～2024年度】

下呂市第二次総合計画では、7つの基本目標の中で、「いしずえ～日々の快適生活を支えるまちの基盤を整えます～」を掲げている。「公共交通」では、以下のように3つの主な取組みを位置づけ、交通弱者の支援に努めるものとしている。

■目指すまちの姿

- 公共交通空白地域が解消され、市民ニーズに対応した交通体系が確立しているまち

【成果指標】

コミュニティバス・デマンドバスの利用者満足度

現状：平成23年 58.3%

目標値：平成31年 60% 平成36年 70%

■主な取組み

《交通体系の検証と見直し》

- ・利用者実績の分析・系統の見直しを行い、効率的な交通体系をつくります。

《交通空白地域の解消》

- ・デマンドタクシー等も検討しながら交通空白地域の解消に努めます。
- ・地域ネットワーク計画の策定を行います。

《コミュニティバス・デマンドバス・スクールバス・保育園バスの一元化》

- ・関係担当課と調整・検討し、コミュニティバス・路線バスを利用した園児・児童の送迎等の検討を行い、一元化を目指します。

(2) 過疎地域自立促進計画【計画期間：2016（平成28）年度～2020年度】

下呂市過疎地域自立促進計画では、施策を展開する9分野の中で、「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」を挙げている。その中で、公共交通対策として、交通弱者の交通手段の確保に努めるものとしている。

（対策の内容は、総合計画の「主な取組み」と同様）

(3) 地域福祉計画【計画期間：2017（平成29）年度～2021年度】

下呂市地域福祉計画では、基本理念「住民の参画と協働による『みんなが安心して暮らせるまちづくり』」の下に2つの重点目標を掲げている。その一つが、「みんなが安心して暮らせるよう困りごとに寄り添い解決します」であり、その施策の一つに「福祉サービスの充実を図ります」を位置づけ、移動困難者に対する移動手段の確保を進めるものとしている。

■移動手段の確保

高齢者等をはじめとする移動困難者に対する移動サービスを研究・開発します。

STEP1 提供されている移動サービスの実態把握を行い、新たな移動手段について検討します。

STEP2 必要な移動サービスをメニュー化して、実施します。

(4) 第7期介護保険事業計画【計画期間：2018（平成30）年度～2020年度】

下呂市第7期介護保険事業計画では、7つの基本目標の一つとして「制度の充実」を挙げている。この中で「福祉パスポート」「福祉有償運送サービス」「福祉乗合型移動サービス（まめなカー）」が実施されている。

(5) 下呂市都市マスタープラン【計画期間：2012（平成24）年度～2020年度】

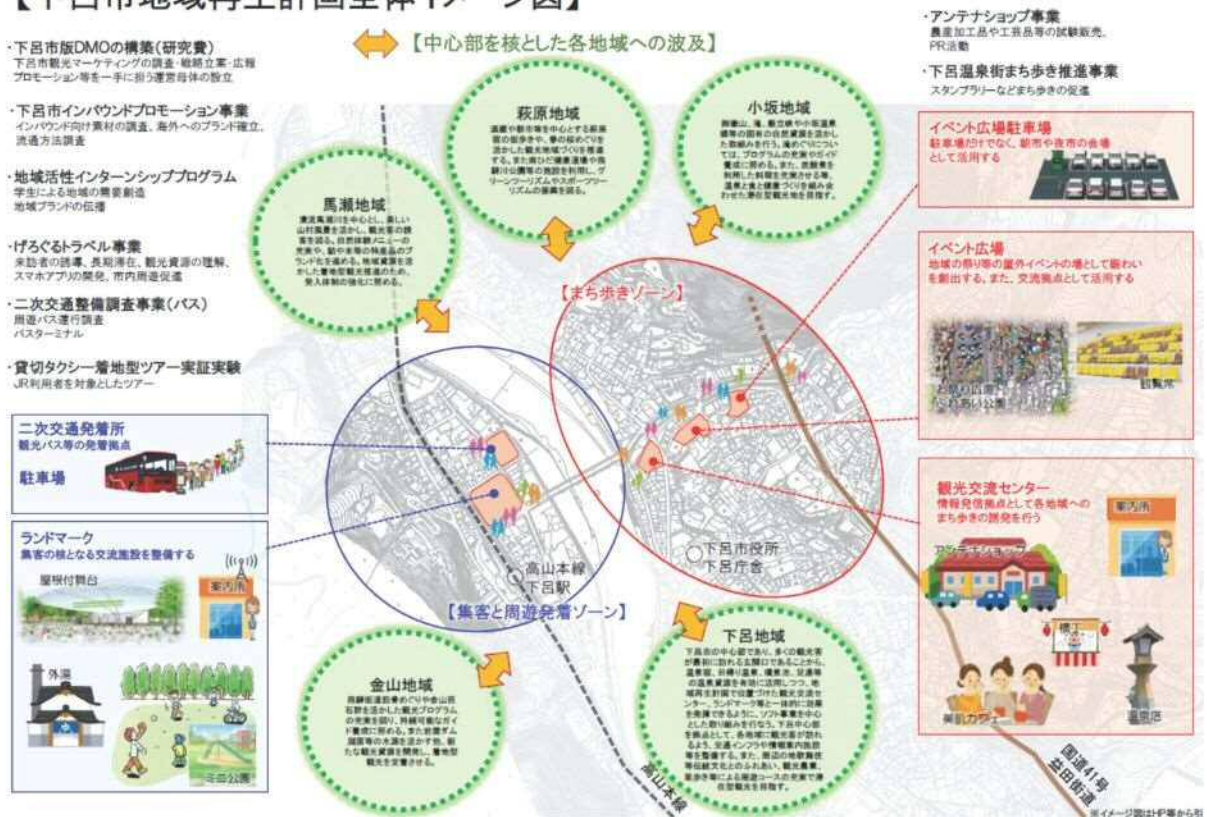
下呂市都市マスタープランでは、3つの基本目標の一つとして「将来も安心して生活できる地域づくり」を掲げ、都市づくりの方針の中で「公共交通機関の充実」を挙げている。今後も買い物、通院、通学、通勤等地域住民の日常生活路線を確保するとともに、観光客も取り込んだ利用促進を図りながら、利用者ニーズに対応した運行の改善やサービスの向上を図るものとしている。

(6) 下呂市地域再生計画【計画期間：2016（平成28）年度～2020年度】

新しい観光ストーリーの確立に向け、下呂市観光の中心である下呂温泉街の魅力向上のために温泉街中心部の遊休市有地を有効活用し、観光の拠点施設を整備するものとしている。

激化する観光地間競争にあって、更なる下呂温泉の集客力の安定的な向上を図るため、下呂温泉のシンボルとなる交流施設等を整備し、集まった観光客を下呂温泉以外の周辺地域へ送客するため、二次交通発着所等を整備するものとしている。

【下呂市地域再生計画全体イメージ図】



出典：下呂市地域再生計画（平成28年3月15日認定）